

製品名: THC2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18876**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	MASTL
別名	MASTL; GW; GWL; THC2; Serine/threonine-protein kinase greatwall; GW; GWL; hGWL; Microtubule-associated serine/threonine-protein kinase-like; MAST-L
遺伝子 ID	84930.0
SwissProt ID	Q96GX5
免疫原	抗血清はヒト MASTL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 821-870

背景

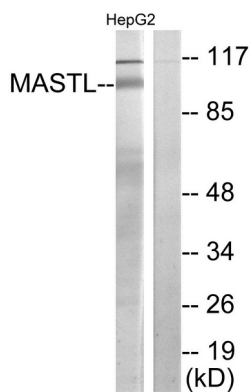
この遺伝子は微小管関連セリン/スレオニンキナーゼをコードします。この遺伝子座の変異は、常染色体優性血小板減少症（血小板

減少症 2 型とも呼ばれます) と関連付けられています。この遺伝子座には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010 年 2 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、疾患: MASTL の欠陥は、血小板減少症 2 型 (THC2) の原因です[MIM:188000]。血小板減少症は、循環血液中の血小板数の減少によって定義され、出血の増加や凝固能力の低下を引き起こす可能性があります。、機能: 巨核球分化に関与する可能性のある推定セリン/スレオニンキナーゼ。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。、類似性: 1 つの AGC キナーゼ C 末端ドメインを含みます。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、

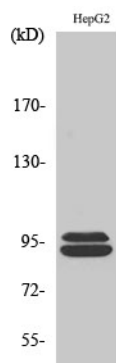
研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞骨格; 微小管; MT 関連タンパク質; MAP; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; その他のキナーゼ

画像データ



MASTL 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



THC2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析